学校番号	3035

令和８年度　理科

教科	理科	科目	(学)文系生物	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校「生物基礎」（啓林館）						
副教材等	スクエア最新図説生物（第一学習社） ニューグローバル生物基礎（東京書籍）　チェック＆演習生物基礎（数研出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「基本は授業。丸暗記ではなく、全体像を理解し、納得しながら覚えよう。」
授業中にしっかり考えながら説明を聞き、内容を理解、納得すること。用語の丸暗記ではなく、現象と現象を関連付けながら、全体像を理解しよう。自分で説明できるようになることが目標。
・「2 年のうちに基礎の徹底を」
共通テストの思考問題に対応するためには、まず基礎の徹底が第一である。問題演習を通して学習内容を復習し、基礎力を身につけてほしい。2 年の 1 年間を有効に使おう。学習の仕方は 1 年次と同じ。①教科書を読む、②自分で図を説明する、③問題集の問題を解く。短時間でよいのでその日の学習内容の復習を。毎回の積み重ねが基礎定着と応用問題を解く思考力につながる。

２　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活や社会との関連を図りながら，生物や生物現象について理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
観察，実験などを行い，科学的に探究する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・原則を理解し、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを適切に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象の関係に関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的な見方や考え方を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	生物の特徴・遺伝子とそのはたらき	生物の特徴	a:細胞の構造を理解する。エネルギーと代謝について理解する。DNA の構造と機能に関心を持ち、遺伝情報の発現のしくみを理解している。 b:遺伝子に関するさまざまな計算ができる。 a:DNA 抽出の原理を理解し、抽出操作を正しく行うことができる。 c:実験を通して、観察・実験・記録に主体的に参加できる。 c:意欲的に問題演習に取り組んでいる。	定期テスト 小テスト	定期テスト 観察課題プリント	学習状況 問題集ノート 実験観察プリント
後期	ヒトの体の調節	神経系と内分泌系の調節 免疫	a:　神経系と内分泌系による恒常性の維持のしくみを理解している。免疫のしくみを理解している。 b:　神経系や内分泌系の異常や、免疫システムの異常が体に与える影響を恒常性の維持のしくみと関連させて考察し、適切に表現できる。 b:与えられたデータを読み取って体の中で起こっていることを考察し、表現することができる。 c:意欲的に問題演習に取り組んでいる。	定期テスト 小テスト	定期テスト 実験プリント	学習状況 問題集ノート 実験プリント
	生物の多様性と生態系	植生と遷移 生態系とその保全	a:　気候と植生の関係、植生の遷移の過程を理解している。生態系内の物質循環、保全の方法について知識を身につけている。 b:植生調査や環境調査のデータを読み取り、何が起こっているか表現することができる。 b:生態系の破壊によって生じる現象を人間生活と結び付けて考察し、それらを防ぐ保全の取り組みを適切に表現できる。 c:意欲的に問題演習に取り組んでいる。	定期テスト 小テスト	定期テスト 実験プリント	学習状況 問題集ノート 実験プリント 課題プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度